

令和3年度 文部科学省

総合職内定者の声





サクッと分かる総合職内定者統計 p.3~

内定者から出身大学や学部、席次などなどを回答してもらい、データとしてまとめました。これだけ見れば、令和3年度の内定者のことがサクッと丸わかり！



私たちの総合職試験勉強事情 p.5~

人事院の総合職試験の情報を中心に載せました。内定者はどの区分を受験したのか、勉強はどう工夫したのか、試験の思い出など情報盛り沢山！



私たちの官庁訪問体験記 p.9~

文科省の官庁訪問がどのように実施されたのかを載せました。内定者はどのようにして官庁訪問を乗り切ったのか、またどのような気持ちで臨んでいたのか、必見です！



就活全般（事務系・施設系、技術系） p.13~

文科省以外はどのような所を受けていたのか、事務系・施設系と技術系に分けて載せました。内定者はどのような所を併願したり考えていたりしたのでしょうか？



内定者プロフィール p.18~

内定者一人ひとりのプロフィールをまとめました。令和3年度の内定者にはどのような人がいるのでしょうか。もしかしたら身近なあの人が文科省の内定者かも……？



インタビュー p.31~

海外経験のある内定者と教員免許取得（予定）の内定者にそれぞれオンラインで集まってもらい、インタビューを行いました。海外経験や、教員免許取得に悩んでいるかは是非ご一読を！



ごあいさつ

『令和3年度 文部科学省 総合職内定者の声』をご覧いただきありがとうございます。この冊子は、文部科学省に興味を持ってくださった方へ、少しでもお力になればと思い、令和3年度の内定者全員で作成しました。

文部科学省は、「教育」、「文化」、「スポーツ」、「科学技術・学術」を所管する省で、2001年の中央省庁再編で当時の文部省と科学技術庁が統合され発足しました。そしてこれら4つの分野はいずれも長期スパンでの政策を必要としており、文部科学省は常に未来の日本を見つめて業務にあたっています。

しかし、2020年から新型コロナウイルス等により社会は大きく変容し、未来への不透明感が大きくなり、予測困難な時代になりました。そのような中で就職活動をしてきた今年度の内定者が、何を考え、何を実現したくて文部科学省への入省を決めたかをこの冊子から感じていただけたらと思います。

また、この冊子が、就職活動中の方の進路選択の一助になれば幸いです。自身の思い描く進路へ進めることを心より応援しております。

令和3年度 文部科学省 内定者一同

サクッと分かる総合職内定者統計

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

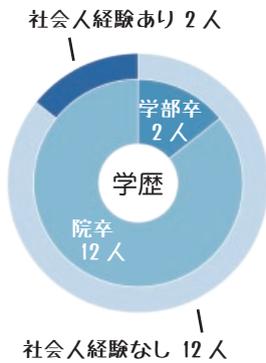
プロフィール者

インタビュー

技術系

技術系内定者
14人

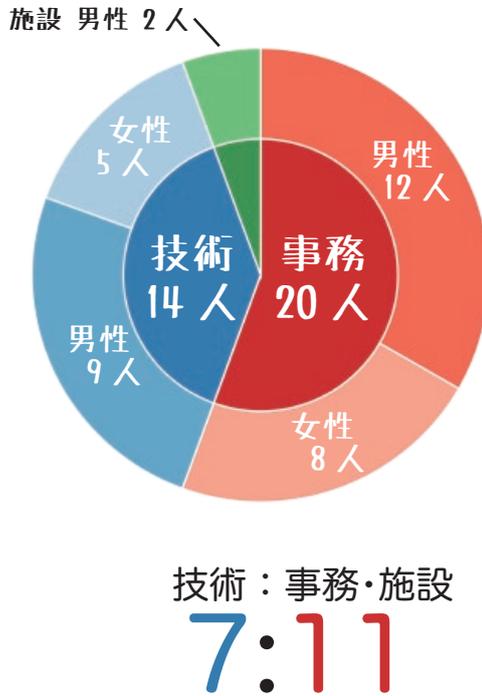
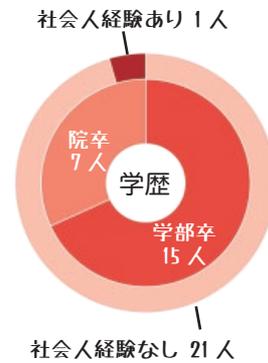
院卒比率
約86%



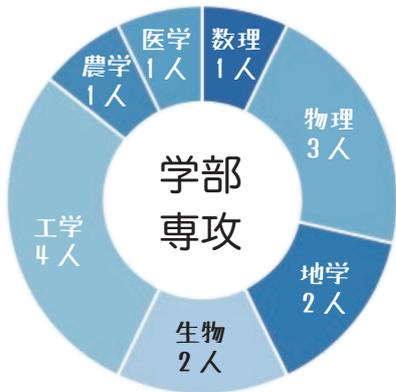
事務系・施設系

事務系・施設系内定者
22人

院卒比率
約32%



技術：事務・施設
7:11



出身大学



出身大学



技術系

事務系・施設系

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

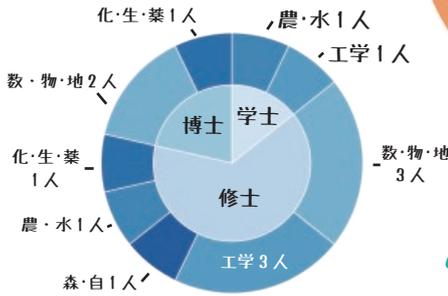
内定者プロフィール

インタビュー

内定者統計 04

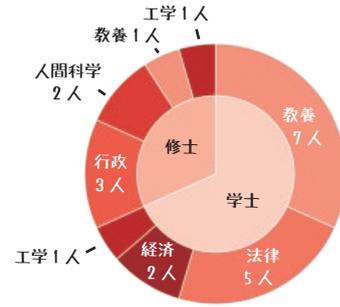
受験区分

農業科学・水産(農・水)
 数理科学・物理・地球科学(数・物・地)
 森林・自然環境(森・自)
 化学・生物・薬学(化・生・薬)

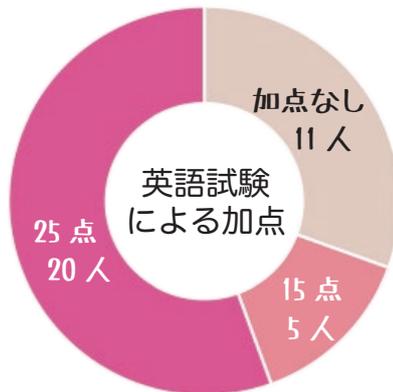
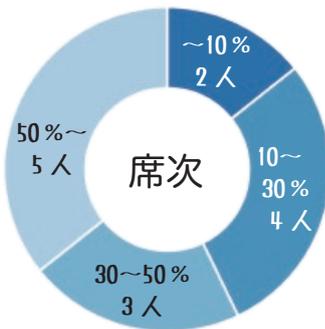


受験年度
 今年度：過年度
22 : 14

受験区分

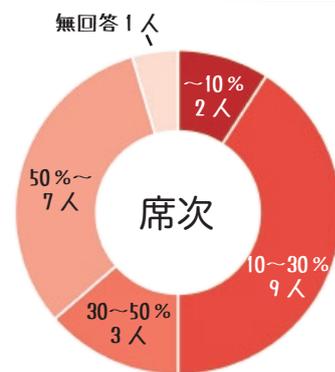


席次(技術系)
 上位10%以内
2人

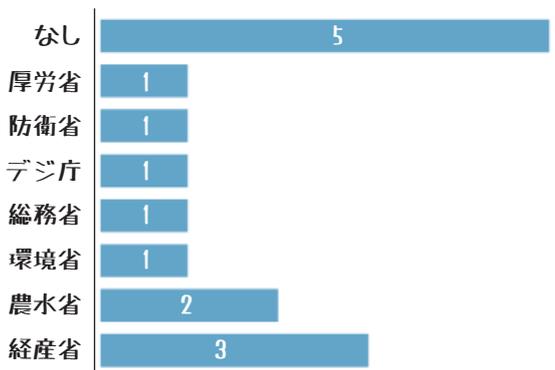


英語試験による加点
 加点あり：加点なし
25 : 11

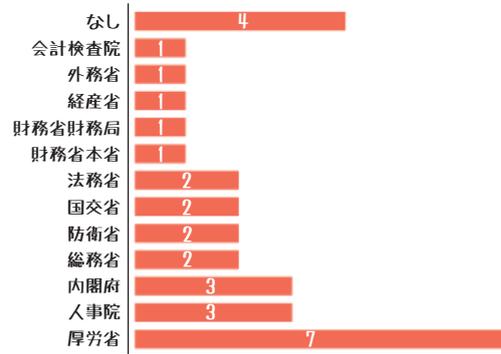
席次(事務系・施設系)
 上位10%以内
2人



併願先



併願先



私たちの総合職試験勉強事情

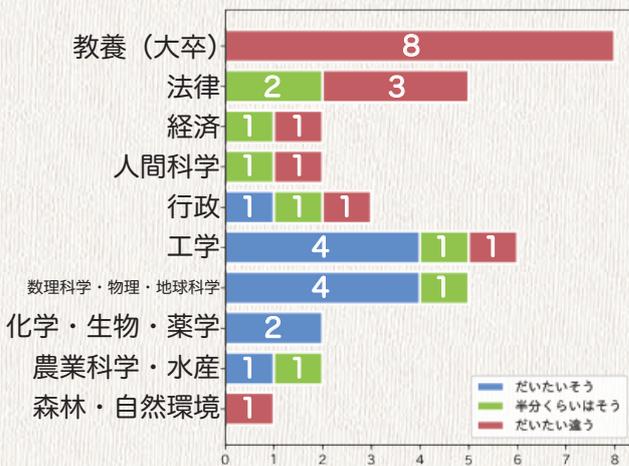
受験区分と専攻

区分	受験した内定者の学部・専攻（一例）
教養（大卒）	社会科学、理、文化、国際教養、法、国際社会、社会
法律	法、経済、文、地域政策
行政	公共政策
経済	経済、経営
人間科学	教育系
工学	工、建築
数理科学・物理・地球科学	理、物理、数学
化学・生物・薬学	医、生命科学
農業科学・水産	生命環境、水産資源
森林・自然環境	海洋地質

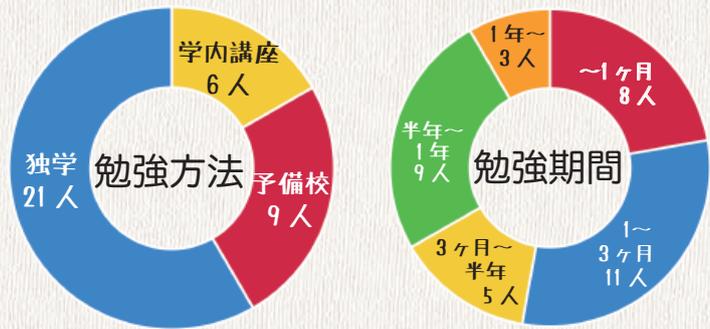


※今年度の内定者の受験区分のみ掲載しています。次年度の採用区分は必ず文部科学省採用ページでご確認ください！

区分と専攻の一致度



勉強方法と勉強期間



！ 区分・科目の選び方

- ・ 教養区分は試験の時期が早いため、民間就活と両立できる。4年春は教育実習などの予定と重なるため、3年秋に受験できる区分を選んだ。
- ・ 経済学部なのに法律区分、という意外性。自分が興味を持って勉強できそうかどうか。
- ・ 大学で学んだ分野、専攻と一致しているものを選んだ。大学の講義で学んだものや、得意な科目を中心に選択した。
- ・ 総合職の過去問を解き、比較的解けそうな科目を選んだ。

！ 使用した参考書

- ・ 市販の国家総合職試験の参考書
- ・ 学校の教科書
- ・ 教員採用試験の参考書
- ・ 社会福祉士試験の参考書
- ・ 司法試験の参考書
- ・ 総合職過去問（人事院へ請求）
- ・ 新聞
- ・ 各省庁白書、パンフレット

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール

インタビュー

勉強する上での工夫

【友人、OBOG との協力】

- ・ 友人と一緒に勉強し、教え合うことで効率を高めた。公務員になった OBOG から情報やアドバイスをもらった。

【過去問演習】

- ・ 過去問を分析してヤマを張った。分野によっては解答がないので、自身で解答を作る気持ちで勉強した。復習できるように「間違いノート」を作った。
- ・ 本番と同じ問題数・時間で演習を繰り返した。

【勉強環境】

- ・ 自室で勉強できないタイプで、コロナ禍で大学の図書館などが使えなかったため有料の自習室を借りて、直前期は毎日朝から夜までこもって勉強していた。

【本番での時間配分】

- ・ 分野ごとに時間配分をあらかじめ決めていた。わかる問題から解き、取捨選択をした。確実に取りに行く得意科目に考える時間を割いた。

【得意、不得意の分類】

- ・ 参考書の問題を一覧にまとめ、自分の得意・苦手がすぐわかるように整えていた。
- ・ あらかじめ勉強する範囲、得点源にする教科を決めて集中的に勉強した。
- ・ 目標点を決める。
- ・ 大問選択制の場合は、必要大問数+1で解答できるように準備しておく。
- ・ 院卒行政区分は2次の記述が勝負と聞いていたので、記述に向けて憲法や行政法の救済三法、行政手続法、民法の頻出のものなどは条文を読み、要件や効果を理解するようにしていた。

みんな様々な工夫をして勉強していたんだね!!



【前日準備】

- ・ 前日は早く寝る。普段早く寝ないせいか緊張のせいか、なかなか寝付けなかったので、早く寝る習慣をつけたかった。
- ・ 昼食の用意をしておく。(場所によってはコンビニもない)
- ・ 鉛筆、チョコ、体温調節用の服を用意しておく。

【当日行動】

- ・ 余裕をもって早めに着いた。
- ・ 私服 OK なので楽な格好で受ける。
- ・ 休み時間は気分転換。お昼ご飯は食べすぎず、次に向けた確認やゲームをしていた。
- ・ 長時間の試験なので、試験中に少し休む時間を設けた。水分補給やお手洗いは試験中でも可能なので我慢しない。

【メンタル面】

- ・ 落ち着いて自信を持って臨む。
- ・ リラックスできる服装で行く。教材をお守り代わりにすべて持って行った。
- ・ 「これが終わったら勉強から解放される！」という気持ちでモチベーションのピークを本番に持っていった。
- ・ 周りで答え合わせしている人の話は聞かない。

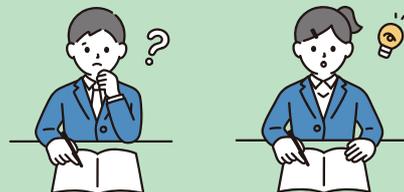
筆記試験当日

【杞憂】

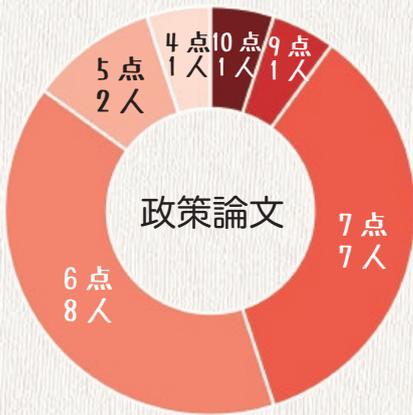
- ・ スーツで行ったが、私服で問題なかった。
- ・ 論述試験で事前に勉強していた科目が全く分からず、対策していなかった科目を選択した。何とかだったので焦らないことが大事。

【失敗談】

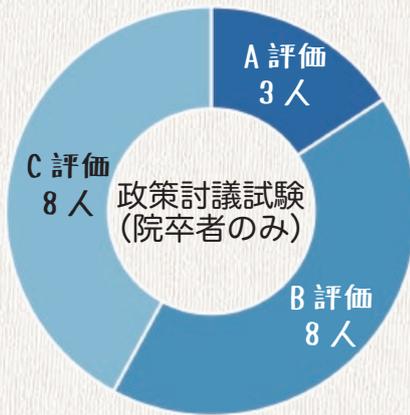
- ・ 緊張しすぎて全く寝られない。前日2時間しか寝られなかった。コーヒーやエナジードリンクで無理やり乗り切った。
- ・ 休み時間は友人と答え合わせをしていたが、それよりも午後の準備をしっかりすべき。
- ・ マスクをつけっぱなしだったので、酸欠になりそうだった。



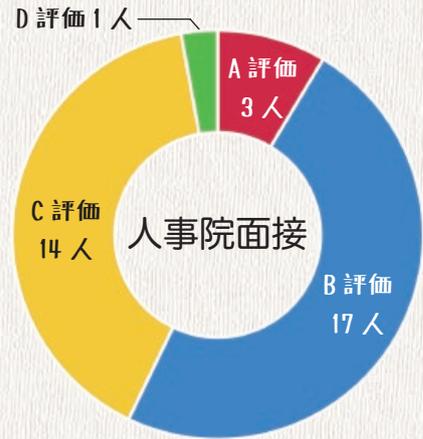
論文や面接試験の評価



※1～10点の10段階



※A～E評価の5段階



※A～E評価の5段階

人事院面接対策

【面接対策】

- ・落ち着いて自信を持って臨む。
- ・ガチガチに暗記するのも良いが、自分の経験を思い出しながら抑揚をつけて楽しそうに話せると良い。
- ・面接当日までは面接カードをしっかりと読み込み、想定質問とその回答を準備しておく。
- ・面接ではあまり深掘りしてもらえないうえに時間も短いので、常に要点をコンパクトに伝えるように練習した。
- ・インターンで知り合った職員の方に面接練習をしてもらった。ただし接触禁止期間に注意！

【面接カード】

- ・面接カードは友人、先輩、キャリアセンターの人に添削を手伝ってもらった。複数人に見てもらうことが大事。公務員を目指す学生有志団体やオンライン添削サービスの活用もあり。
- ・何を聞かれているのかを把握するよう努めた。そのうえで自分の経験をもとに求められている範囲で自分の能力をアピールした。
- ・何をきっかけに、こういった行動をして、その結果何を得られたのかを具体的に盛り込むように意識した。
- ・今までの人生と思考の変化を振り返りながらエピソードを書き進めていった。面接官が質問したくなるフックとしての役割を意識した。
- ・インターネットや書籍を参考に、きれいな字で早めに作り上げておく。

【前日準備】

- ・面接カードは1部多くコピーして、メモ用に当日も持って行った。
- ・暑い日だったのでタオルを持って行った。

【当日の行動】

- ・普段通りに過ごしたかったため、朝のバイトを済ませてから向かった。
- ・待ち時間が長かった。最長5時間程度。本や資料を持ち込んで、面接準備をしておくとうい。
- ・明るく元気よく話す！
- ・ショートコント「面接」のテンションで挑んだ。

【メンタル面】

- ・友人も同じ会場だったのでリラックスできた。
- ・本を持って行ったが緊張で内容が入らず、読んでいるふりをしてぼーっと過ごしていた。

【失敗談】

- ・当日に指示があった、面接部屋への入室後に部屋のドアを閉めることを忘れてしまった。試験官ににやにやされながら面接が始まった。
- ・面接当日に自転車でこけて、手から出血しながら面接を受けた。
- ・面接で端的に答えすぎて、教員が天職であるかのような返答になってしまった。
- ・15分の面接のわりに、答えが冗長になりそうで困った質問もされた。
- ・人事院面接で「周囲はあなたをどう思っていますか？」と他己評価を聞かれましたが、面接に慣れてなかったためテンパってしまい「おっちょこちょいだと思われてますね……」と答えて面接官に苦笑されました。それでも合格しますので肩の力を抜いて受験してください！



人事院試験の思い出

【良かった(?) こと】

- 面接で「君は何日連続で徹夜したことあるの?」と聞かれ「4日連続くらいですかね笑」と返したら「なかなかやるね」と言われてそれ以降、結構盛り上がった。
- 修士一年で受験をしたが、来年もチャンスがあると思うとかなり気楽だった。
- 人事院面接は部活や習い事に対する質問が多く、しっかり準備した志望動機に触れられずに終わった。

【失敗談】

- スーツを着ていったが、普通の靴下を履いたまま2次試験1日目に臨んでしまった。
- 1次試験の総合論文で参考資料が2つだけだと思ったら、ページをめくると3つ目の参考資料があり、急いで半分以上書き直した。
- 試験結果の見方を間違えており、その後の試験会場でみんなに教えてもらった。説明は最後まで読みましょう。

【アドバイス】

- 筆記は分野が広いので、捨てるところは早々に見極めることが大事だと思います。
- まわりに仲間がおらず、情報集めに苦労した。Youtube やブログ等で情報発信している方々がとてもありがたかった(すべて正しい情報とは限らない)。
- 人事院試験の必要書類はなるべく早く準備しておきましょう。
- 総合職と言えど基本の知識の定着が重要だと改めて感じた。
- 一次合格後に論文試験対策を始めたが、択一の知識があったのでそれでも間に合った。
- 民間就活との違いを意識して臨む必要を強く感じた。
- 政策課題討議の際に感染防止のためパーティション、フェイスガード、マスクの三重ガードになっており、他の受験者の発言が聞き取りにくく、自分の声も聞こえてるか分からなかった。大きな声出す以外にない……

【学業・研究・仕事との両立】

- 人事院試験の勉強中(3月中旬~5月末)はほぼ研究できなかった。公務員試験を受けるつもりで博士はそれまでに卒業できそうな程度に研究を進めておいた方がいい。
- 受けるか迷ってる方はとりあえず受けてみるのをオススメします!特に理系は回答する問題の選択肢が広いので専攻と近いものが必ず(多分)あるはず!しかも筆記試験は基本的に日曜日のので研究室休まなくてすみます!笑
- 2次試験の日が必修の実験の日と重なってしまって担当教員に伝えるのが億劫だった。
- 卒業単位に関わるテストと面接日時がぴったり重なり、先生に事前に頼み込んで遅れての提出を認めてもらった。
- ちょうど卒論の準備をはじめた時期だったので様々な不安が重なって大変だった記憶があります。民間就活の準備をしていると自己分析などで役立つとは思いますがもう少し早いうちから準備ができていたら良かったなと思いました。
- 社会人で働きながらの勉強だったので通勤時間と土日で頑張った。かなりしんどかった。今年は記念受験で本命は来年のつもりだったがなんとか受かった。受験料がかからないので軽い気持ちで挑戦してみてもほしい。
- 運の要素もあると思います。時間のある学生時代に合格してしまった方が楽です。



コラム：既合格者とは？

国家総合職試験は**最終合格すると3年間は採用候補者名簿に記載**されます。この名簿に記載された人は「既合格者」と呼ばれます。例えば大学院進学を考えている場合、学部4年で合格して修士課程へ進学すると、2年後の卒業するタイミングで官庁訪問からスタートできます。もし不合格でも修士1年と2年で受験するチャンスはあるので、学部4年はリラックスして受験できるのもメリットの1つです。

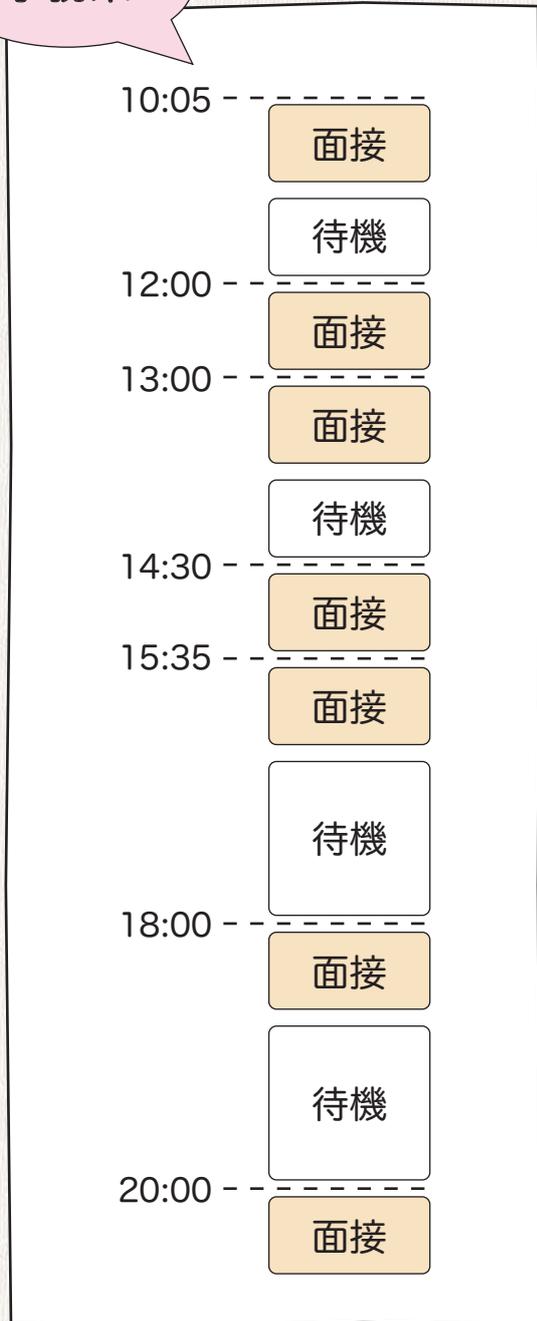
加えて、技術系は6月初旬に既合格者向けの官庁訪問が実施され、その年に試験に合格して官庁訪問する人より早く内々定をもらえるチャンスがあります。

詳しくは人事院の「[国家公務員採用情報 NAVI](#)」や文部科学省の[採用ページ](#)をご覧ください。

私たちの官庁訪問体験記

ある1日のスケジュール

事務系



施設系

面接 x 6回

※ 上記は7月期の官庁訪問時の一例。
今年度から施設系も工学区分既合格者向けで、6月初旬に既合格者向け官庁訪問が実施されました。
次年度の官庁訪問に関しては、文部科学省の採用ページをチェック！

このスケジュールは一例です。
面接回数や1回の面接時間は人によって大きく異なります。
しかし、待機時間は共通して長くあるので、面接の振り返りをしたり、本を読んで気持ちを落ち着かせたりしよう！



評価されたと思うポイント

- 自分の考えや経験を自分の言葉で伝えられたこと、そして職員の方の話を聞いて前向きに議論できたことが評価されたのかなと思います。その点において、研究室でのディスカッションの経験が非常に役立ちました。
- 自分の言葉で志望動機や政策への意見を言えるようにしていたことは、評価されたと思います。

- しっかりコミュニケーションが取れたところ、落ち着いて話ができたと、論理的な説明になっていたところが評価されたと思う。
- 今になって振り返ると、質問力が評価されたんじゃないかなと個人的には考えています。政策について知っていることをアピールするよりも、知りがってることをアピールするようになった方が、面接官からの印象は良いかもしれません。
- 教育学、行政学、統計学の知識を踏まえた議論姿勢が評価されたと感じます。また、自身が重視する課題意識や価値観の原因を深く考えておくことが、議論の中で活きると思います。

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール

インタビュー

ある1日のスケジュール

技術系

【7月期】

8:45	面接
9:00	面接
	待機
11:25	面接
	待機
13:00	面接
14:35	面接
15:40	面接
16:55	面接



【6月期（既合格者）】

9:30	面接
	待機
11:20	面接
	待機
13:10	面接
	待機
15:20	面接
15:45	面接
	待機
17:30	面接
18:30	面接
18:50	面接

※ 例年、技術系は7月期の官庁訪問に先立って、6月上旬に既合格者向けの官庁訪問が実施されます。次年度の官庁訪問に関しては、文部科学省の採用ページをチェック！

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール

インタビュー

官庁訪問エピソード

- ・ 1, 2クールがオンラインでしたが、控室ではいろいろな人と話してみるのがおすすめです。その人が考えているキャリアプランや政策など控室でのディスカッションを通して具体的にすることで面接でも多角的に話せたと思います。
- ・ 官庁訪問期間中、ずっとクールビズで参加したら、最後の面接で「君ってスーツ持ってる??」

内定式の日には「スーツで来てね笑」と言われた。クールビズ参加は全く問題ないが、内定式までにスーツは準備しておこう！

- ・ 緊張のあまり寝付けなくて寝坊してしまい、どすっぴん・ノータイツでオンライン待機室に入りました。オンライン面接でほんとによかった……
- ・ 第2クール1日目に宿泊先からタクシーで文科省へ向かっていたところ、タクシーの運転手が歩行者妨害で白バイ隊員に捕まり、到着が集合時刻ギリギリになるという珍事件に見舞われました。

官庁訪問体験記 10

官庁訪問の準備

【来訪者メモ・面接対策】

- ・来訪者メモは、前年度2月くらいに書き始めました。「志望動機」と「政策提言」が一番面接で突っ込まれやすいので、その2つは早めに書き始める、もしくは考え始めるのがいいと思います。私は親や内定した先輩、省庁イベントで知り合った他の志望者に見てもらい、添削や意見をもらっていました。
- ・業務説明会や各省のHPを活用し、自分の興味がある分野を中心に政策研究を進めた。具体的な課題は何か、解決するための政策とその効果、政策立案にあたっての課題などを考えた。ただ、政策の知識を増やすよりも志望動機ややりたいことなど自分の熱意に関する深掘りを大事に準備した。面接対策には予備校の対策を活用した。
- ・来訪者メモを通じて省庁が何を聞きたいのか考えた。その上で自分がアピールすべき能力とこれまでの経験をもとに書いた。興味のある政策の欄は白書を参考に今の政策で足りない部分を自分なりの視点も交えて考えるようにした。
- ・来訪者メモ（≒エントリーシート）の準備は念入りに行った。政策提案の部分では、課題設定からその課題解決方法、予算配分、政策評価を具体的に記載した。また、その書いた文面を職場訪問の際に見せて実際にディスカッションした。しかし、官庁訪問当日は様々なご指摘をいただいて、まだまだ力不足だなと感じた。

【官庁訪問期間中】

- ・第1クールを通して面接官の方から話を聞くパートが多いことに気付いたので、その後はあまり話す内容をかっちり決めるのではなく、面接官との対話の中から話を膨らませていくことを心がけました。面接官の方も、来訪者メモを隅から隅まで読むといった様子ではなく、受験

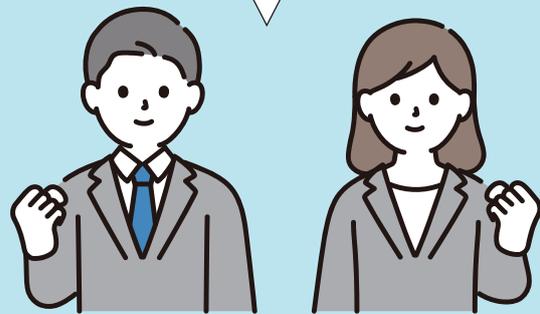
者とのやり取りを大事にしているという印象でした。ある程度きちんとした文章さえ書けていれば、後は話し方や聞き方に気を配って準備するのが良いと思います。

- ・官庁訪問期間中は毎日日記をつけた。
- ・あえてあまり準備をせず、素を出すよう心がけました。

【アイテム類など】

- ・オンライン面接対策で、PCを置くのにちょうどよい高さの机を購入しました。
- ・私たちは第1クールがオンラインだったためヘッドセットや顔を照らすライトはあると非常に便利だった。
- ・遠方だったので期間中の宿泊場所で研究できる道具など割と大荷物でした。官庁訪問に関する本などに書かれていた必需品は持って行ったと思います。
- ・合間に栄養補給できる糖分など。ただでさえ緊張で寝不足だったりするので、体力に自信がなければ抜かりなく準備すべきだと思います。

入念に準備をして官庁訪問に臨もう!!



コラム：施設系志望者へ

施設系内定者から志望者へコメントをもらいました!!

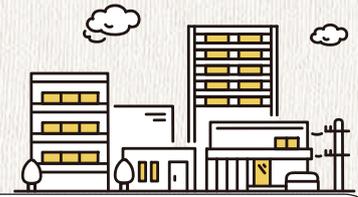
【文科省は技術系と施設系があるが、施設系にした決め手は??】

独自の側面から文科省に貢献できる点が決め手でした。施策の実行には計画策定（ソフト）と場の整備（ハード）の両方が重要ですが、このハード面を担い、施策を基盤から支えている点は施設系独自の特徴だと思います。

【施設系を目指す受験生へ一言お願いします!!】

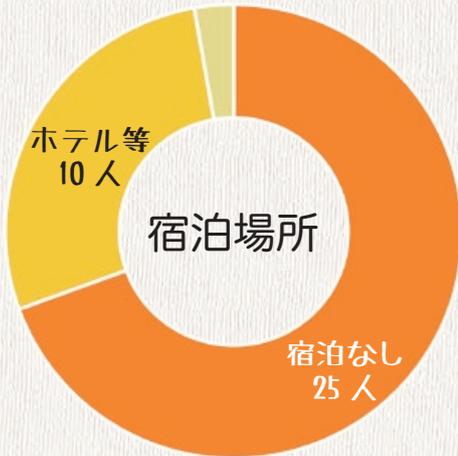
社会情勢の急変により、文教施設は新たなあり方を問われています。よって、ここ数年の特殊な学生生活で見たこと・感じたことは、施設系にとって貴重な知見になると思います。ぜひその体験をここで活かしてください。

宿泊場所



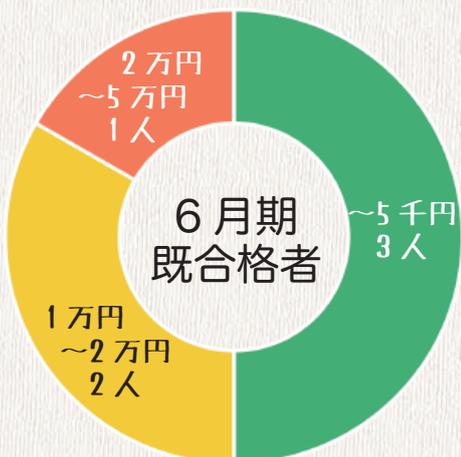
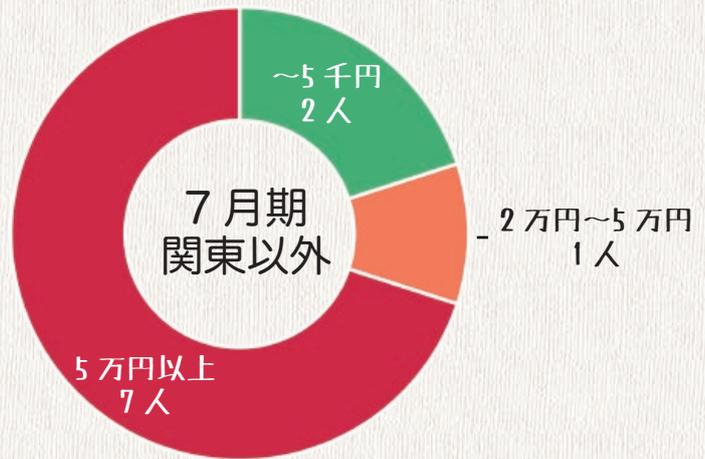
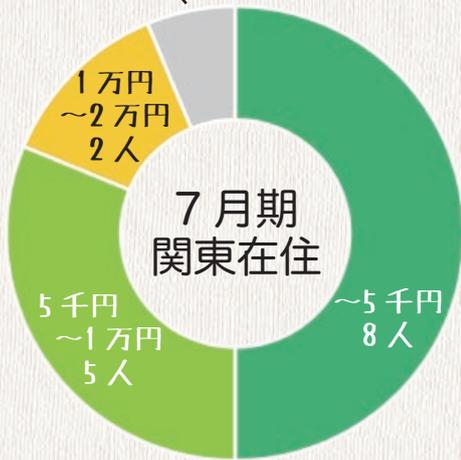
東京周辺に住んでいる人が多いことに加え、既合格者向け官庁訪問ではオンラインで済んだためか宿泊が必要なかった方が多かったようです。
 宿泊する場合は自分でホテルなどを探るか、人事院の「国家公務員採用情報 NAVI」から宿泊施設を申し込むことも可能です。

家族・友人宅 1人



官庁訪問でかかった費用

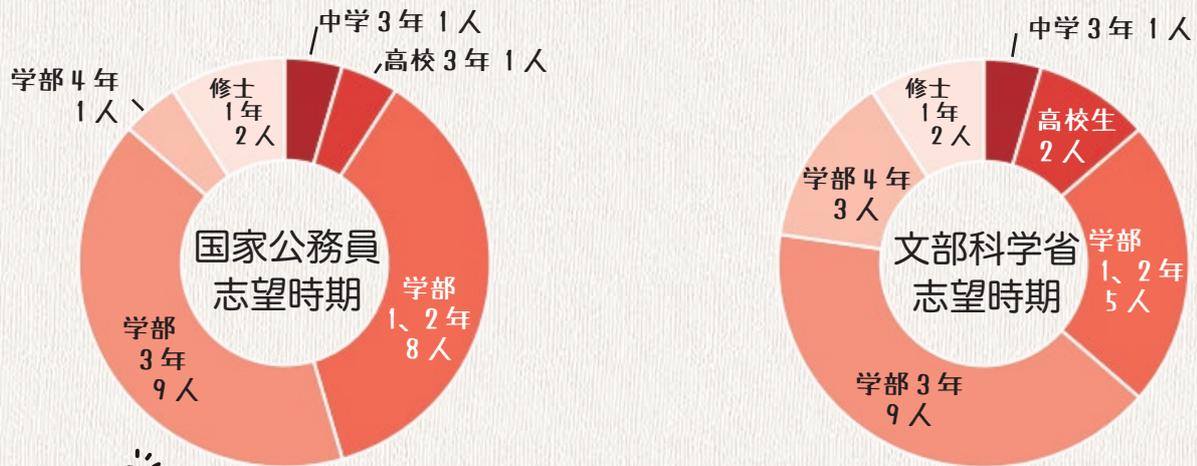
無回答 1人



住んでいる地域によってかかる金額も大きく異なっています。遠方からだと宿泊費や交通費でかなりの額になるでしょう。特にホテルなどでは自炊が難しいので外食が増え、食費もかなりかかる可能性があります。事前に出費がどれくらいかかるのか想定してお金の準備もしっかりしておきましょう!!

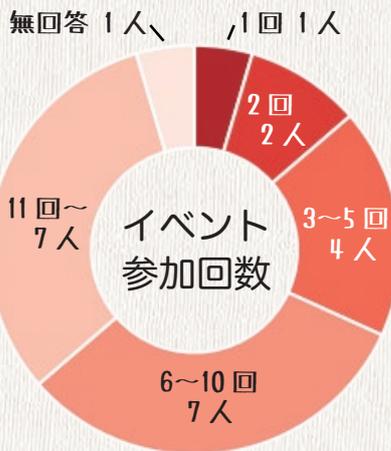
就活全般～事務系・施設系～

国家公務員・文部科学省を目指し始めた時期は??



事務系・施設系は比較的低学年の時から志望しているね!!

文部科学省のイベント参加回数は??



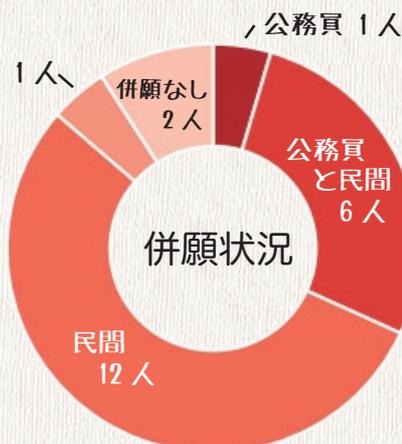
【どのイベントに参加しましたか??】

・インターン	8人
・職員訪問	14人
・業務説明会	20人
・政策シミュレーション	15人
・少人数座談会	9人
・無回答	1人

政策シミュレーションは、省が持つ具体的な課題について、グループディスカッションと発表を通じて政策立案を体験するイベントです。



国家総合職以外はどこを併願した??



【公務員併願状況(複数回答)】

・国家一般職	1人	・裁判所総合職	1人
・地方公務員	8人	・裁判所一般職	1人
・家庭裁判所調査官補	1人	・財務専門官	1人
・国税専門官	2人	・参議院事務局	1人
・国立国会図書館	2人	・自衛隊	1人

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

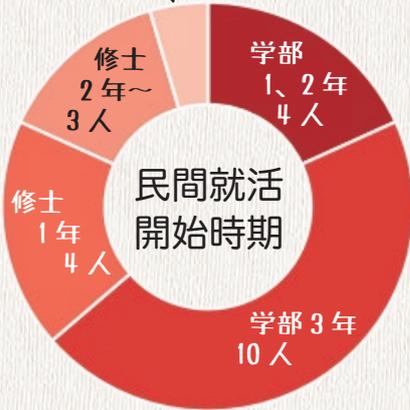
プロフィール者

インタビュー

就職全般(事務・施設)

民間就活開始時期は??

していない1人、



【所有資格(英語試験・運転免許を除く)】

- ・教員免許 4人
 - ・宅地建物取引士 1人
 - ・行政書士 1人
- ※ 教員免許取得者へのインタビューを p.33 に掲載しているので、是非ご覧ください!!

併願した業界(一例)

- ・ IT
- ・ 海運
- ・ 介護
- ・ 教育
- ・ 金融コンサル
- ・ 人材
- ・ シンクタンク
- ・ ゼネコン
- ・ 大学事務
- ・ 通信
- ・ デベロッパー
- ・ 独立行政法人
- ・ 不動産
- ・ ベンチャー
- ・ メーカー
- ・ 旅行 ほか
- ・ 併願なし (4人)



コラム: 就活で苦労したこと part 1

【民間就活との両立】

- ・ 理解が進まない科目があったり他の企業で選考が進まなかったりするときに焦ったが、他の方の話を聞いて苦しいのはみんな同じだと思い落ち込みすぎないようにしていた。
- ・ 公務員は内定がやや遅めなので、修論との兼ね合いや、就活が終わらないストレスとの戦いが大変だった。
- ・ 民間企業も 20 社近く面接を受けていたので、公務員試験との両立は本当に辛く精神的に死にかけてたが、やり切ったよかったと思っている。
- ・ 同級生には公務員志望者が非常に少なく、周りが早々に就活を終えていく中で頑張り続けなければいけなかったことが大変だった。
- ・ 3月、4月頃の試験前に公務員志望を伝えていなかった内定先から座談会や面談などの拘束を受けたり、承諾期間を色々理由を付けて伸ばしてもらったりすることによりかなり精神的に負担を感じた。

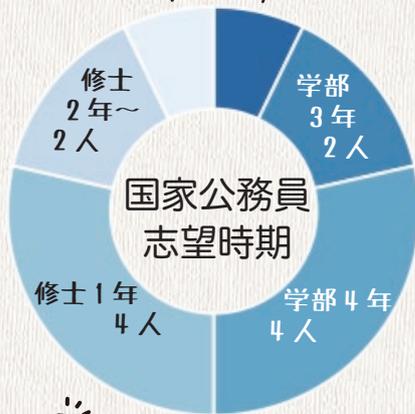
【研究・教育実習との両立】

- ・ 就活自体に大変と感じたことはあまりなかった。ただ、官庁訪問準備で研究の進捗を止めていて、官庁訪問終了後に一気に研究を進めたことが一番大変だった。
- ・ 研究との両立、年齢の壁 (@民間企業、博士卒のため)
- ・ 研究室活動や教育実習などの合間を縫って準備したり官庁訪問に望んだりしたことが大変だった。
- ・ 研究室の先生に秘密で試験を受けたので、いつのタイミングで話すべきか悩んだ。
- ・ 6月に3週間の教育実習を行いその次の週から官庁訪問が始まったので体力的にきつかった。

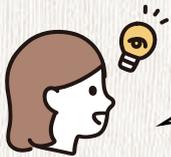
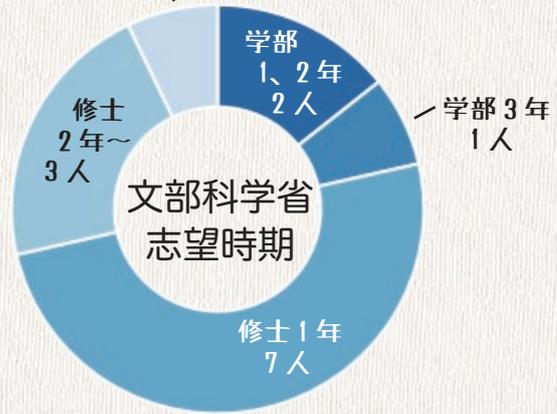
part 2 は 2 ページ先をチェック!!

国家公務員・文部科学省を目指し始めた時期は??

博士 3年 1人、学部 2年 1人

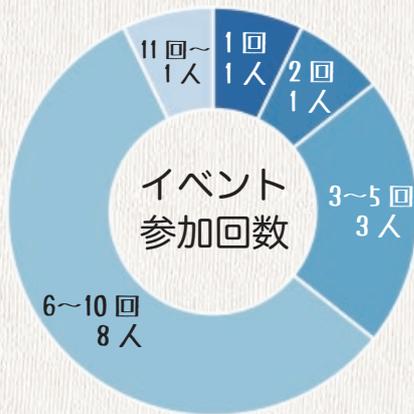


博士 3年 1人、学部 3年 1人



技術系は学部3年以降が多く、比較的ゆっくりな感じだね。

文部科学省のイベント参加回数は??



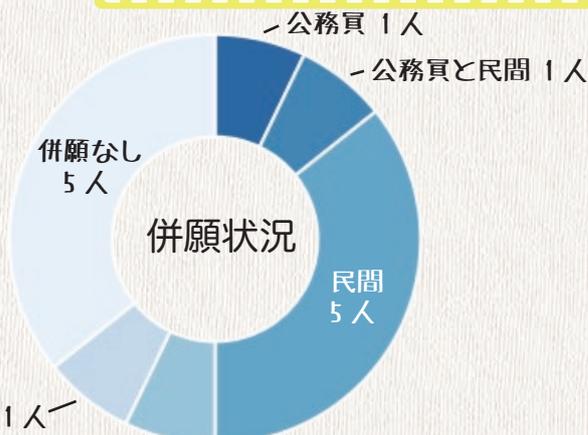
【どのイベントに参加しましたか??】

・インターン	3人
・職員訪問	10人
・業務説明会	14人
・政策シミュレーション	6人
・少人数座談会	7人
・幹部講話	1人

職員訪問とは、現役職員と個別で話ができるイベントです。仕事の内容の質問から就活に関する相談まで、さまざまな話をすることができます。



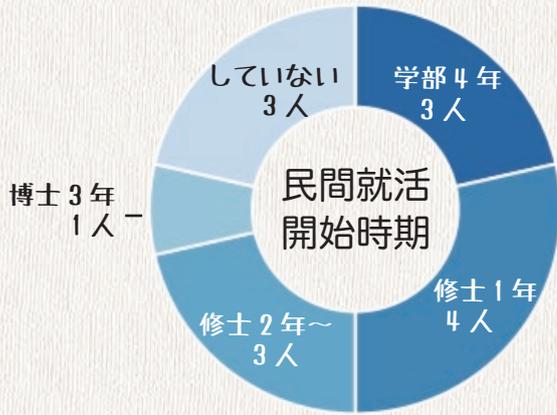
国家総合職以外はどこを併願した??



【公務員併願状況(複数回答)】

・国家一般職	2人
・地方公務員	2人
・科学捜査研究所	1人

民間就活開始時期は??



【所有資格(英語試験・運転免許を除く)】

- ・教員免許 3人
 - ・学芸員 1人
 - ・測量士補 2人
- ※ 教員免許取得者へのインタビューを p.33 に掲載しているので、是非ご覧ください!!

併願した業界(一例)

- ・ 教育
- ・ 研究
- ・ 航空
- ・ コンサル
- ・ 食品
- ・ 製薬
- ・ メーカー ほか
- ・ 併願なし (8人)

技術系は業界を絞って受けたら、公務員一本だったりするそうですね!!



コラム: 就活で苦労したこと part 2

【仲間が見つけれない不安】

- ・ ほぼ文科省一本で、周りに公務員志望もいなかったため、メンタル的にしんどかった。
- ・ 特にそうした境遇の仲間が周りに誰ひとりいなかったため孤独だった。

【就活に関する情報不足】

- ・ 博士課程で先輩も後輩もほとんどいない研究室で就活のやり方が全く分からなかった。
- ・ 周囲に公務員を受ける人がいなくて情報を集めることが非常に大変だった。
- ・ 同じ大学に文科省で総合職として働いている先輩がおらず、情報がほぼ皆無だった。
- ・ 周囲に公務員や総合職を受験する友達が少なく、情報収集に苦労した。省庁主催の座談会やネットの情報を活用していた。

【コロナ禍の就活】

- ・ 営業自粛中の東京に滞在する間の夜ごはん確保に苦労した。
- ・ とにかく仲間を見つけられなかったこと、コロナの影響で情勢の変化が大きかったことが大変だった。

次ページではこうした苦労を経験した内定者が、「なぜ入省を決めたのか」を紹介しています!



私たちが文部科学省に決めた理由

事務系・施設系 内定者

【〇〇な仕事がしたい！】

- ・ 国レベルの大きな課題に取り組んでみたい
- ・ 人や世間の役に立つ仕事をしたい
- ・ 人そのものを考えられる仕事をしたい
- ・ 教育と科学技術・学術分野、両方に大きく関わられる仕事に従事したい
- ・ 特定の分野ではなく研究業界全体の意識を変えられる職に就きたい
- ・ 科学技術政策に携わりたい

【人・雰囲気・業務内容にピンときた！】

- ・ できるだけ多くの人の毎日を豊かにしたい、全ての人の人生をよくしたいという思いから国家公務員を、それを実現する手段として教育、文化、スポーツなど文科省の所管分野が一番自分にとって重要かつ魅力的に映ったので文科省を選んだ
- ・ 自分が取り組みたい社会課題を解決するために最適だと感じた
- ・ 他の省庁・企業と比較して、職場の雰囲気が自分に合っていると感じた
- ・ 苦労は多い職場かもしれないが、様々な職員とお会いする中で、ここでしか得られないやりがいがあると感じた

- ・ 教育行政に正面から向き合う職員の姿に触れ、生涯を懸けて働く覚悟が決まった
- ・ 官庁訪問を通じて感じた職員さんたちの熱意や雰囲気は自分に合っていると感じた
- ・ 他の進路では選考の段階から何人もの職員の方々とお話しできる機会は少ないため、文科省に比べ自分がそこで働くというイメージが湧きにくかった
- ・ 日本の未来のために働くという自身の理念と組織のミッションが一致していたから。また、同様の理念を持つ職員がおり、一緒に働きたいと思うようになった
- ・ 省が持つ政策分野全てに興味を持って前向きに取り組めそうだと感じた
- ・ 一緒に働きたい、自分も将来なりたいと思う職員や志望者がいた

【その他】

- ・ 中途採用の入省枠が少ないため

是非、色々な職員さんと会って、入省後のイメージをしてみよう!!
皆さんの志望する進路に進めることを心より応援しています!!



【〇〇な仕事がしたい！】

- ・ 現場でも働け、政策にも関わりたい
- ・ 日本の教育や科学技術をより良くするために1番インパクトのある仕事がしたい
- ・ 様々な理由によって望んだ教育を受けられない人々の力になりたい
- ・ 教育行政に携わりたい
- ・ 人の成長につながる仕事をしたい
- ・ 教育に関わるすべての方を応援したい

【人・雰囲気・業務内容にピンときた！】

- ・ これまでの経験が一番活かせると感じた
- ・ 職員訪問でお話を伺った皆さんが、とにかくかっこよくて輝いていた
- ・ 学部卒から博士、社会人まで幅広いバックグラウンドを持つ人がいる中で、日本について直接考えることができると考えた
- ・ 職員の人柄に惹かれた

技術系内定者

【その他】

- ・ 今1番魅力を感じている文科省で、最初に社会人経験を積んでおきたかった
- ・ 自らの専門知識を活かせると思ったから

来年、お目にかかれることを楽しみにしています!!



内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

プロファイラー

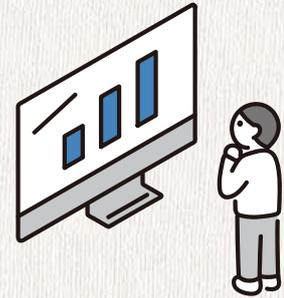
インタビュー

文科省に決めた理由 17

プロフィールの見方

背景

-  : 事務系
-  : 施設系
-  : 技術系



写真

名前 大学名 学部・専攻名



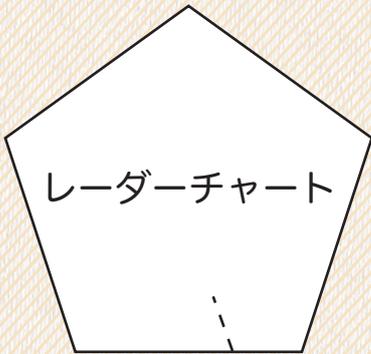
サークル、趣味



併願先



興味のある政策



内定者のコメント /

- ① 文科省を選んだ決め手は？
- ② 就活で大変だったことは？
- ③ 文科省で取り組みたいことは？
- ④ 学生時代にやってよかったことは？
- ⑤ 将来の後輩へのメッセージ

【レーダーチャート】では
内定者の **5つの特徴** を紹介！

【内定者のコメント】では、
内定者それぞれが①～⑤の好きな項目から
1つ or 2つ選んでコメントを書いて
もらいました！





D・N 早稲田大学 社会科学部



合気道、海外旅行



外務省、
民間企業諸々



高等教育の機会均等

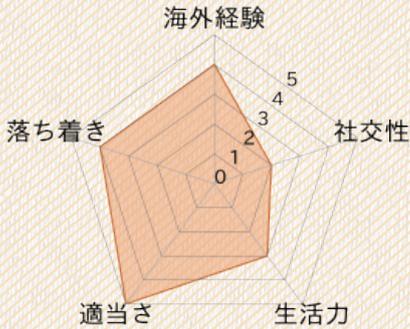
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

官庁訪問を通じて国家公務員を意識し始めた頃の初心を思い出させて頂いたから。

④学生時代にやってよかったことは？

留学と語学学習。自分の中に当然に根付いていた考え方を絶対視することがなくなった。



ベル 慶応大学 法学部



読書



内閣府、県庁



教員の働き方改革

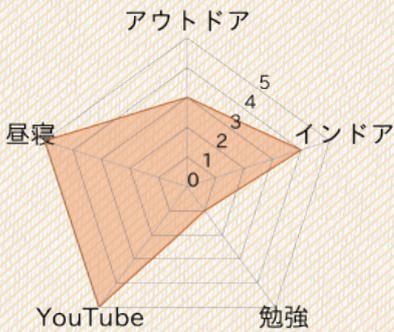
\ 内定者のコメント /

②就活で大変だったことは？

民間より内定の時期が遅いため、精神的にきつくなること

③文科省で取り組みたいことは？

教員の働き方改革
(教員である母親の働き方を間近で見てきたため)



R・M 大阪大学 理学部



合唱、スキー、カメラ



大学院

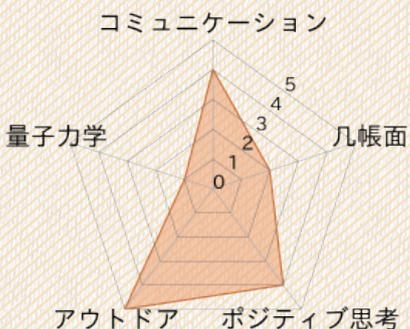


教育、科学技術全般

\ 内定者のコメント /

②就活で大変だったことは？

理系学部生だったため周りにはほとんど大学院進学を検討しており、公務員どころか就活する仲間を見つけるのが大変だった。特に大学院進学前提で研究室活動が組まれているため、実験と官庁訪問対策の両立が難しかった。また学部4年の前期はこれと言った研究成果がないので研究分野について面接カードに書くことがなく困った。





Y・T 中京大学 経済学部



音楽鑑賞、温泉



金融業界、人事院



子供たちの学びの保障

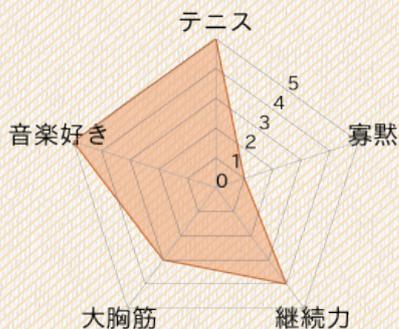
＼内定者のコメント／

③文科省で取り組みたいことは？

今もなお存在する教育格差の是正に資するような仕事に取り組みたいと考えています。また、高・大とスポーツによって進学してきた経験から、生涯スポーツ振興や競技力向上をはじめとしたスポーツ行政にも興味があります。

④学生時代にやってよかったことは？

アメリカ・東南アジアでの貧困支援ボランティアへ参加したことです。貧困に苦しむ人々の実情を知ることにより、日本の教育について改めて考えるきっかけにもなりました。



T・K 東京大学 経済学部



子ども向け科学実験



教育、玩具、エンタメ



高大接続教育

＼内定者のコメント／

④学生時代にやってよかったことは？

沢山働いて沢山趣味を作り、毎日の経験から自分の学びに繋がる点を見つける習慣をつけたこと。

⑤将来の後輩へのメッセージ

辛く苦しいことも経験する就活ですが、自分の可能性を感じられる瞬間もきっとあるはず。その可能性を活かせる場所が文科省でありますように…！



S・M 早稲田大学 文化構想学部



ヴァイオリン



デベロッパー



STEAM 教育

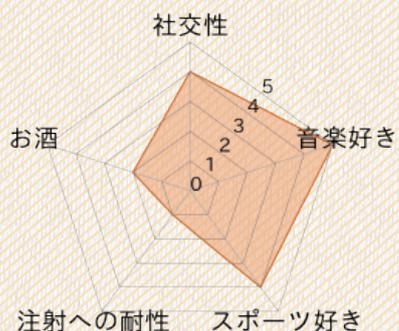
＼内定者のコメント／

①文科省を選んだ決め手は？

所管分野が一番魅力的だったから

⑤将来の後輩へのメッセージ

就活は大変なことも多いと思いますが、様々な価値観に触れられるいい機会になると思うので、ぜひ楽しんでください！文科省でお待ちしております！



内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール

インタビュー

内定者プロフィール 20



A・T 横浜市立大学 国際総合科学部

 ディズニー、旅行

 国交省、
地方自治体

 英語教育、文化観光

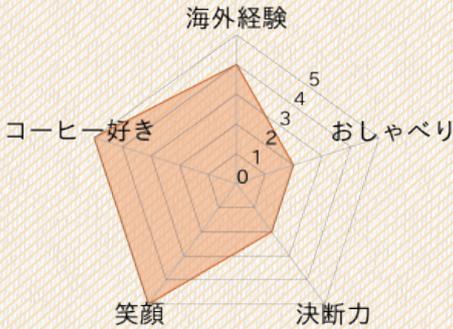
\ 内定者のコメント /

②就活で大変だったことは？

モチベーションを維持し続けるのが大変だった。年明けに根詰めて勉強をし過ぎ、その後の本試験や官庁訪問前にやる気が低迷してしまったため、モチベーションのピークの設定も大事だったと感じた。

③文科省で取り組みたいことは？

英語教育を通じて子供たちの将来の選択肢を豊かにしたい。また、文化・スポーツと観光の融合に尽力し、地域活性化にも挑戦したい。



S・A 早稲田大学 国際教養学部

 ピアノ、野球観戦

 内閣府、コンサル

 学社連携、英語教育

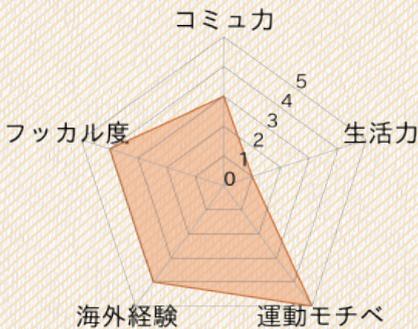
\ 内定者のコメント /

③文科省で取り組みたいことは？

学校の地域連携などの様々な施策を進めていくことで、すべての子どもたちが活躍できる場所を提供したいです。

⑤将来の後輩へのメッセージ

将来誰のために、何のために働きたいのか、真剣に悩んでみてください！その答えが文科省で働くことによって実現できるなら、ぜひ一緒に働きましょう！



K・K 九州大学大学院 法学府

 読書、写真

 地方自治体、
IT など

 教育の機会均等

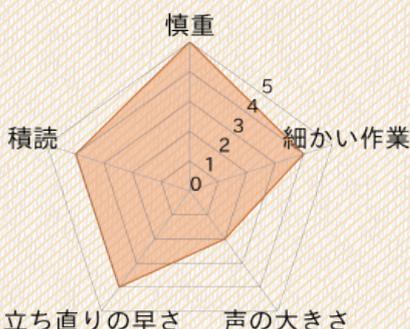
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

教育や学術、文化などを通じて、人びとが広い意味でより豊かに生きることができる社会の実現に貢献したいと考えたから。

⑤将来の後輩へのメッセージ

大変なことも多々あるかと思いますが、自分が本当に大切にしたいことを見失わずに、就職活動を楽しんでください。





K・F 一橋大学 社会学部

 ダンスサークル

 厚生労働省、
法務省

 子供の貧困対策

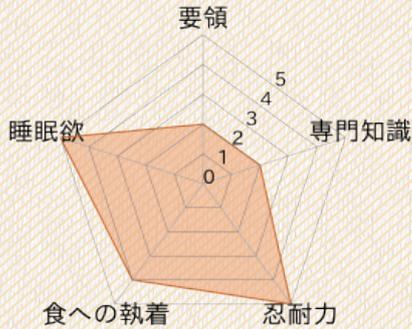
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

最終的には自分の志望動機を職員さんが評価してくださったこと、自分も10年後文科省の職員さんのような人間になりたいと思ったことが決め手になりました。

④学生時代にやってよかったことは？

教育系のNPOや発達障がいを持つ中学生の家庭教師など、様々な教育現場を経験できたこと。



K・F 立命館大学 経営学部

 学園祭運営団体

 教育業界、神戸市

 キャリア教育

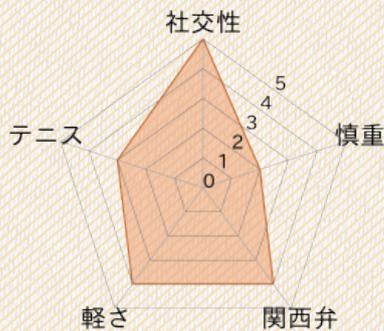
\ 内定者のコメント /

④学生時代にやってよかったことは？

学園祭運営団体と塾講師をやり通したことです。自信をもってやり切ったと言えることがあったため、就活をスムーズに進めることができました。

⑤将来の後輩へのメッセージ

自分の将来について真剣に考えるととても貴重な機会だと思います。いっぱい悩んで、全力で進むべき道を見つけてください！



T・M 東京大学大学院 教育学研究科

 合気道、将棋

 財務省

 教育統計、教育DX

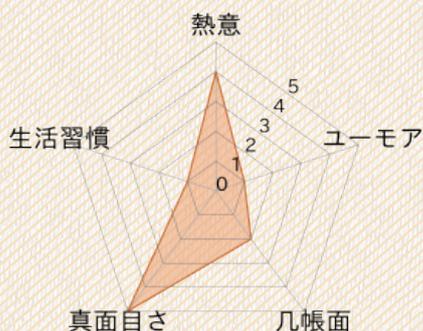
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

未来のために働けること

⑤将来の後輩へのメッセージ

自分が何のために働きたいのかを突き詰めて考えてほしいと思います。



内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール

インタビュー

内定者プロフィール 22



H・K 一橋大学 公共政策大学院



スノボ、釣り、銭湯等



厚生労働省、
法務省



教員の働き方改革など

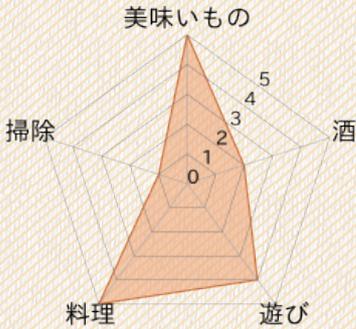
\ 内定者のコメント /

②就活で大変だったことは？

試験・官庁訪問対策に加え民間就活と研究を上手く並行して進めるのが大変でした。時期ごとの優先順位付けが大事だと思います。

⑤将来の後輩へのメッセージ

せっかく働く場所を選ぶなら、いちばん自分がやりたくて自分に合っていると思うところに行けるように頑張るのが良いかと思います。まずは役所ありき、公務員ありきではなく、何がいちばんやりたくてどこがいちばん合っそうか向き合ってみてください。その先にもし国家公務員や文部科学省があったら嬉しく思います。



T・| 東京大学 法学部



体育会ホッケー部



厚労省、メーカー



教育格差、外国人児童

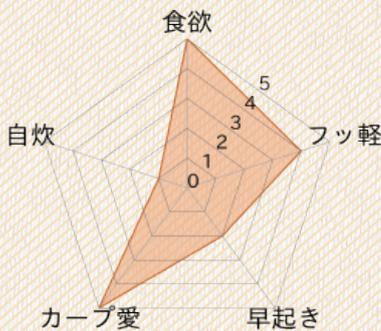
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

自分のやりたいことが文科省なら実現できると思ったから。尊敬できる職員の方が多かったから。

⑤将来の後輩へのメッセージ

官庁訪問は職員の方と沢山話すことができる貴重な機会なので、緊張すると思いますが楽しんでください！



K・K 早稲田大学 法学部



バレーボール



なし



生涯学習、社会教育

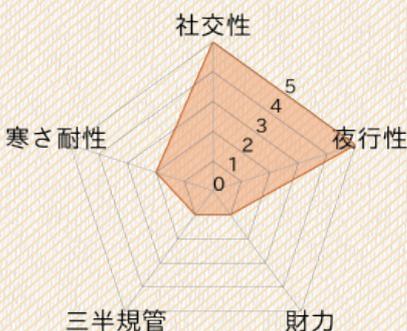
\ 内定者のコメント /

②就活で大変だったことは？

情報収集が大変でした。あと自分は文科省一本だったのですが、一本にして良いことは何一つ無かったです。

③文科省で取り組みたいことは？

どの政策も魅力的なので、命ある限り全ての政策分野に携わりたいです。





T・M 一橋大学大学院 国際・公共政策教育部



テニスサークル



なし



特別支援教育

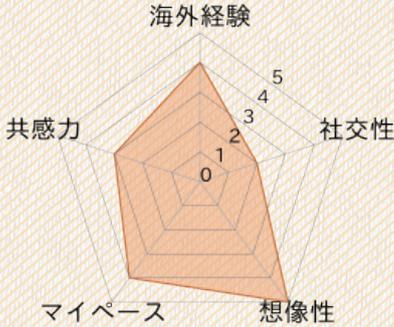
＼内定者のコメント／

③文科省で取り組みたいことは？

さまざまな多様性を受け入れることができる社会をつくりたいです。

⑤将来の後輩へのメッセージ

未来を考えることのできる文科省と一緒に働けることを楽しみにしています！



K・O 東京大学大学院 公共政策大学院



応援部チアリーダース



経産省、
シンクタンク



高等教育、科学技術

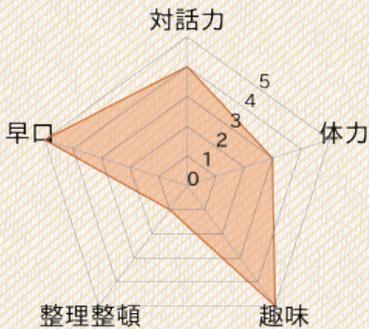
＼内定者のコメント／

④学生時代にやってよかったことは？

部活動に打ち込んだこと

⑤将来の後輩へのメッセージ

勉学やサークル、バイトなど大学生活を通じて頑張ったこと・やりきったことを1つでも見つけられるような充実した学生生活をぜひ送ってください！



R・I 慶應義塾大学 文学部



弓道、ソフトテニス



厚生労働省、
防衛省

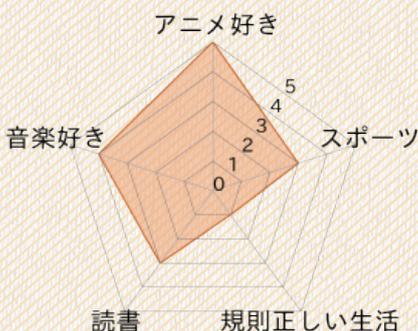


ヤングケアラー支援

＼内定者のコメント／

②就活で大変だったことは？

時間の使い方です。民間や公務員も受けていましたが、それぞれ雰囲気も異なり、それぞれに対応した対策が非常に大変でした。特に官庁訪問では自分の中の考え方をうまく話せるように関連分野の現状を調べましたが日常から社会問題に深い関心を持っておくとよかったなと感じます。また、周囲に同じ志望者がいなかったために情報収集が大変でした。HPや新聞、ネットなど幅広い媒体で情報を集め取捨選択することが大変でした。





N・Y 東京外国語大学 国際社会学部



テニスサークル



内閣府、民間



令和の日本型学校教育

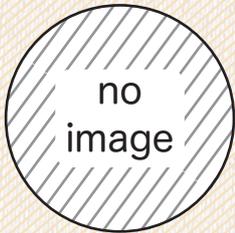
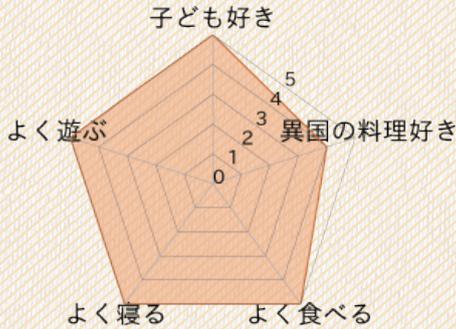
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

教育に関わるすべての方を応援するツールと、共に働きたい / 将来自身も目指したいと思う職員の方や志望者の存在。

④学生時代にやってよかったことは？

とにかく素直に興味を持ったことに向き合い、学んだこと。遊んだこと。



K・H 筑波大学大学院 教育研究科



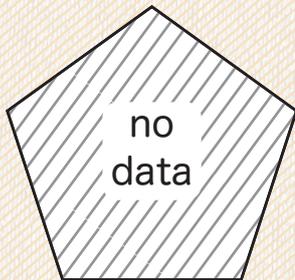
教員 (勤務中)



\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

子どもたちのため、教員のため、未来のために役立ちたいと考えたから。



A・K 東北大学大学院 工学研究科



スポーツ観戦



防衛省



文教施設、地方行政

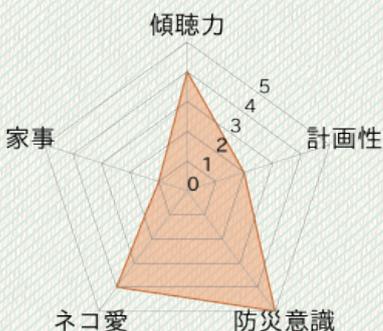
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

ソフト面の取組が中心の教育分野と、ハード面主体の建築分野が協働する現場に魅力を感じたから。

②就活で大変だったことは？

建築学の同級生には公務員志望者が非常に少なく、周りが早々に就活を終えていく中で頑張り続けなければいけなかったこと。



内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

プロフィール者

インタビュー

内定者プロフィール 25



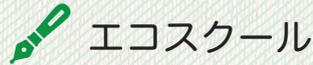
むろ 横浜国立大学 都市科学部



バスケ



東京都



エコスクール

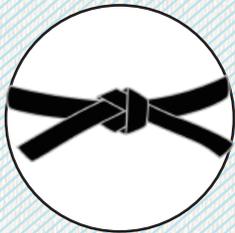
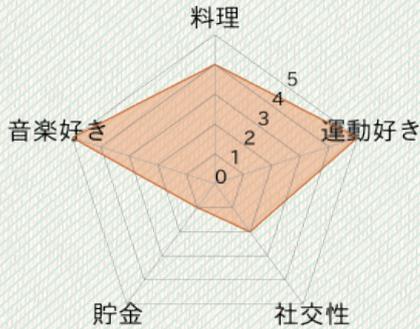
\ 内定者のコメント /

②就活で大変だったことは？

面接が多くて疲れる

④学生時代にやってよかったことは？

いろんなところに行ったこと



K・S 早稲田大学大学院 総合機械工学専攻



合気道



メーカー



科学技術政策

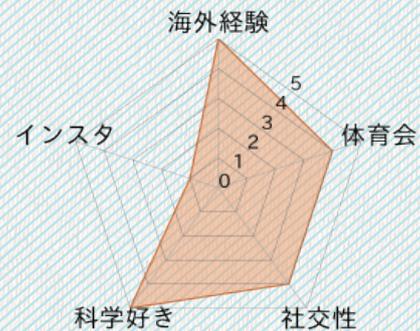
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

科学技術政策に携わりたいので文部科学省と経済産業省で迷いましたが、文部科学省の方がより研究者に寄り添ったミクロな政策が出来るのではないかと考え志望しました。

②就活で大変だったことは？

試験勉強や官庁訪問対策は1人でやるとなかなかモチベーション維持が難しいので、一緒にやる仲間がいるといいと思います！もちろん、1人で全部やって合格する人もいます！



H・S 筑波大学 生命環境学群



イベント企画運営団体



農林水産省



研究インテグリティ

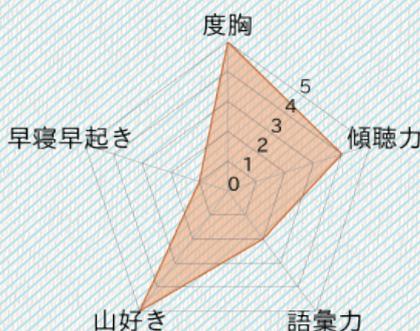
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

職員さんが魅力的で、一緒に働きたいと思ったから。

③文科省で取り組みたいことは？

国際研究力の向上に寄与したい。



内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

プロフィール者

インタビュー

内定者プロフィール 26



S・N 物理科学研究科



天文、ボウリング



なし

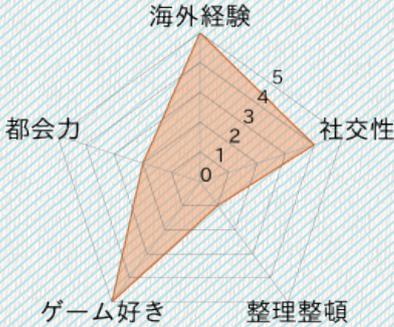


科学技術の大型計画

＼内定者のコメント／

①文科省を選んだ決め手は？

博士課程で研究をしてきた身として、研究業界が全体的に広報・普及活動に対する意識が低いと感じていました。このまま研究者としてキャリアを積みつつそのことを訴えるよりも、文科省という外部の立場からの方が影響が大きいと考えて文科省に入ろうと考えました。



M・H 京都大学大学院 医学研究科



オケ、旅行、ごはん



コンサル、経産省



博士人材の進路開発

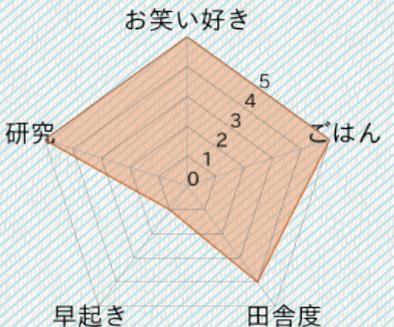
＼内定者のコメント／

①文科省を選んだ決め手は？

職員の皆さんがかっこよかった。科学技術をサポートするぞという熱意を感じた。研究者の目線に立って政策立案をする姿勢に共感した。

⑤将来の後輩へのメッセージ

一緒に働きたいな、と思える社員・職員さんがいる企業・省庁を目指してもらえたらと思います。それが文科省であればとても嬉しいです！



S・F 九州大学大学院 理学府



サイクリング



なし



防災研究、理科教育

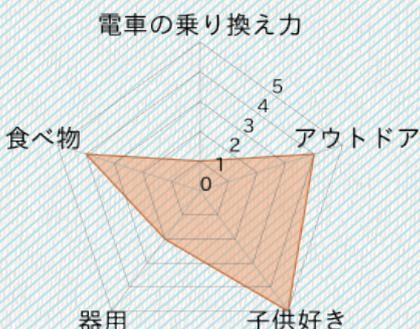
＼内定者のコメント／

①文科省を選んだ決め手は？

自分の興味があることを多くカバーしていることと、職員の方の人柄

②就活で大変だったことは？

ほぼ文科省一本だったことと、周りに公務員志望の人があまりいなかったため、メンタルを保つことが大変だった。





しばゆ 名古屋大学大学院 工学研究科

バイク、革細工、献血

経済産業省

研究者・研究機関支援

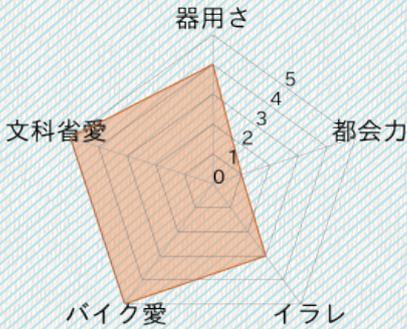
＼内定者のコメント／

④学生時代にやってよかったことは？

所属組織の代表経験。100名規模の学生団体の代表として企業の方とディスカッションしたり、学生同士で話し合って事業提案・企画・実施したりと、かなり交渉能力を磨けた。

⑤将来の後輩へのメッセージ

教育は誰しもが受けてきた、一番身近なものだと思います。これが次の世代や未来の子ども達にも繋げていけるように一緒に働きませんか??



ガタオ 鹿児島大学大学院 水産資源科学専攻

おままごと

大手食品会社

博士進学者向けの政策

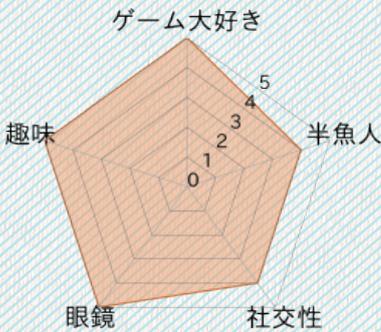
＼内定者のコメント／

④学生時代にやってよかったことは？

やってよかったと胸を張って人に話せる経験をしてほしいです。同じ経験をしてそこから何を感じどう伝えるかはその人次第！なので日常的なことでも他の人が気づかないような発見をしたら心にメモる習慣がおすすめです。

⑤将来の後輩へのメッセージ

まだ実際の仕事も体験していませんが、文科省を志望した日から今日まで以上の新しい発見があると信じてます。来年以降に入省する皆さんと一緒に共有できることを心待ちにしております。



ジャッカル 立命館大学大学院 生命科学研究科

NBA 観戦、空手

環境省

大学ファンド

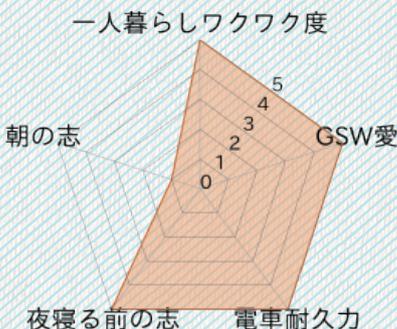
＼内定者のコメント／

②就活で大変だったことは？

研究活動との両立、敬語

⑤将来の後輩へのメッセージ

就活は早く決まったもん勝ちじゃない(と思う)





S・M 立命館大学大学院 理工学研究科



オーケストラ



防衛省



博士人材の活躍推進

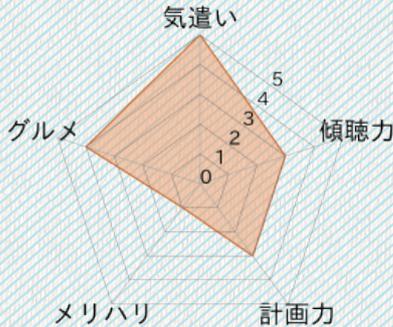
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

職員さんの人柄に惹かれ、教育と科学という視点からの政策に興味があったから。

④学生時代にやってよかったことは？

100人規模のサークルの運営。組織の動かし方や大人との関わり方を学んだ。



R・H 東京大学大学院 数理科学研究科



謎解き、お笑い



なし



地方教育・科技立国

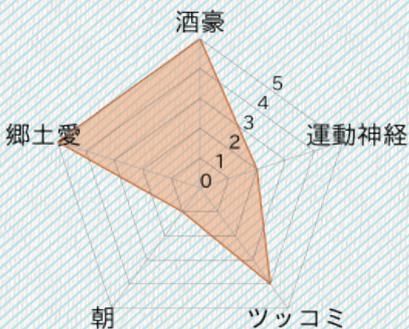
\ 内定者のコメント /

①文科省を選んだ決め手は？

日本の50年後を変える仕事をしたかったから。

⑤将来の後輩へのメッセージ

努力なしに考え込むのではなく、考えなしに努力するのでもなく、努力するために考え、考えるために努力出来た人が良い人生を送れると思っています。自分にとってのより良い可能性を、悩み、選び抜いて下さい。



N・K 大阪大学大学院 理学専攻科



旅行、物理



特になし

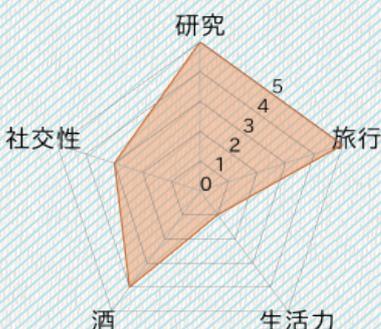


基礎研究振興

\ 内定者のコメント /

③文科省で取り組みたいことは？

博士学生や若手研究者が研究に専念できる環境を作りたい。また、科学技術の重要性を多くの人に理解してもらい、「選択と集中」のような種まきの段階で選別するような方針から転換できるような土壌を作っていきたい。



内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

プロフィール者

インタビュー

内定者プロフィール 29



N・I 東北大学大学院 理学研究科



オーケストラ



メーカー（勤務中）



科学技術の振興

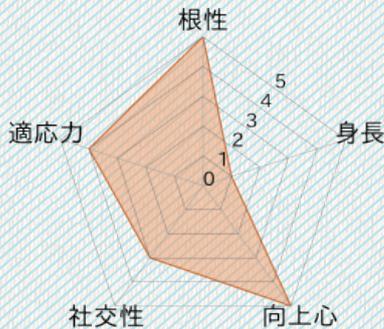
＼内定者のコメント／

①文科省を選んだ決め手は？

職員さんの雰囲気や人柄が自分に合っていると感じたから

③文科省で取り組みたいことは？

いろんな分野の研究者の人に出会ってみたい



N・K 東北大学 工学部



競技かるた、カメラ



経済産業省、
栃木県庁



働き方改革

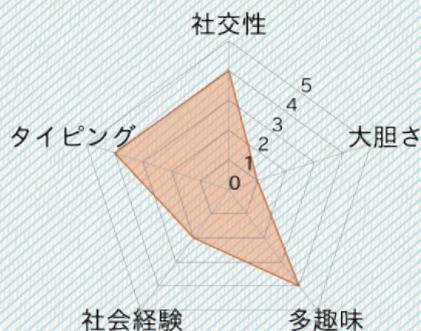
＼内定者のコメント／

①文科省を選んだ決め手は？

自分の人生の軸として0から1を作る人を支えること、学びの環境を本当に誰にでも開かれた場所にするをライフワークにしたかったから

④学生時代にやってよかったことは？

たくさん本を読むこと、たくさんの人に出会うこと、吸収したのから自分で論理を立てて考えて伝えること



R・G 東京大学大学院 新領域創成科学研究科



睡眠、仕事



教育事業会社
（勤務中）



科学技術、教育、文化全般

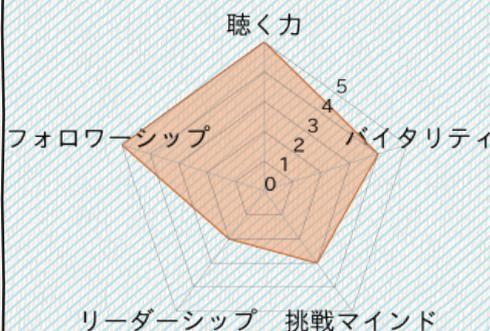
＼内定者のコメント／

②就活で大変だったことは？

仕事をしながらの試験・面接だったので、特に平日のスケジュール調整に苦労しました。しかし、文科省の官庁訪問では、配慮していただけだったので、大変ありがたかったです。

⑤将来の後輩へのメッセージ

文科省は「熱意」と「成長」を評価してくれる組織だと感じます。門戸は広く開かれていますので、様々なバックグラウンドを持つ人が志してくれると嬉しく思います。（本誌 p.33 に私が参加した対談が掲載されているので、そちらも是非ご覧ください！笑）



内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール

インタビュー

内定者プロフィール 30

海外経験者へインタビュー



Sさん

M2~D2の間に研究の一環でアメリカで3年弱生活。技術系。



Dさん

学部2年の終わり~3年夏にかけて台湾で半年弱留学。事務系。



Nさん

学部3年夏~3年冬にマレーシアで半年強私費留学。事務系。



Kさん

家庭の都合でアメリカで合計9年間生活。帰国子女。技術系。

令和3年度内定者の中で海外経験がある人を何人か集めて話を聞きました。今回はその中でもこれを読んでいる就活生の方々の役に立ちそうな部分をまとめます。

【海外経験はプラスになるのか？】

 **Sさん** 直球になりますが、公務員試験や民間就活で海外経験がどれくらいプラスになったか、というのは聞いておきたいですね。皆さんどうでした？

 **Kさん** 自分は海外経験の話を官庁訪問したのは2回くらいしかありませんでした。ふーん英語喋れるんだ、ってくらい。あとは日本と外国の違いみたいな質問はされました。省庁や人事の人によって違うかもしれないですね。

 **Nさん** 自分から進んで話す事はなかったですけど、海外について学んだことや海外で体験したことからつなげて文科省でやりたい政策の議論をすることは多かったです。自分にとって大きなトピックだったので面接の対策とかはしやすかったかな。

 **Dさん** 自分は海外経験のある職員の方や

今まさに海外にいる方と話すことが多かったと思います。

 **Sさん** 自分も海外にいたからどうこうではなく、そこからどのように文科省の志望理由に繋がるのかという方が大きかったと思います。

 **Kさん** 印象としては海外で得た経験をどう活かすか、どのように言語化するかのほうが大事な気がしますね。海外にいて英語ができるからハイ加点、という感じではないと思います。

【海外滞在と就活】

 **Sさん** 自分とDさん、Nさんは大学生の間に海外に行ったわけですが、それで就活で苦労したことなどありました？自分は試験勉強の準備などがかなり面倒でした。

 **Nさん** 留学のタイミング的にも帰国後は公務員試験に集中したかったので、民間就活などは留学中から準備をしていました。周りに就活をしている友人がいない環境だったのでスケジュール管理など色々大変でした。

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール者

インタビュー

 **Dさん** 学部の3年は就活が活発な時期なので、やっぱりタイミングは考えた方がいいと思います。

 **Nさん** 民間企業では海外での就活イベントとかもありますが、コロナもあって難しくはなってるかもしれないですね。

 **Kさん** 文科省のインターンでも海外からオンライン参加してる人はいました。ただ試験や官庁訪問は帰国しないといけないので、その辺りの日程調整も早めにやるべきだと思いますね。

 **Nさん** ちょっと話ズれるんですけど、自分は留学行く前に大学の就活担当みたいな人から「公務員志望で学生のうちに海外行く人は珍しい」みたいなこと言われたんですよね。皆さんの周りでそういうのありました？

 **Sさん・Dさん** 自分たちはそういうのなかったですね。

 **Sさん** まあでも今年の内定者にもそれなりに海外経験者いるっぽいですし、そこまで気にしなくてもいい気がします。

【海外滞在と勉強】

 **Nさん** やっぱり学部の中に1年丸々行くのは公務員志望だと難しいかもしれないですね。春の試験だと勉強もそれなりに必要ですし……もし行くなら予め試験内容とか調べて教材持っていった方がいいと思います。

 **Dさん** 学生のうちに海外行きたい事務系志望の人は教養区分がオススメです（笑）。

 **Sさん** 技術系だと大学での専門分野と試

験内容が被っているからそれよりは楽かもしれません。でも教材持っていくのは大賛成。僕の時は一時的にオンラインでの過去問取り寄せができなくて、結局日本に帰ってきてから書類郵送したので……

【読者へのメッセージ】

 **Dさん** 留学するか悩んでいる学生の方は絶対に行った方がいいと思います。就活で特に不利になるとかはないので。

 **Nさん** 社会人になったらお金がらみとか色々あるので学生のうちにに行けるなら行った方がいいと思います！時間もあるので現地の人と交流したりできますし。

 **Sさん** 就活で「自分がどういう人間か」を語る際に海外経験は大きな要素になるので、もう行った人もこれからの人もそういう点から色々考えてみてください。環境変わると視点とかも変わります。

 **Kさん** 就職活動においてもこれからの人生においても、海外経験がマイナスになる事はほとんどありません。迷っている人はぜひ行って見るといいと思います。既に経験がある人は、海外を経験して自分が周囲の同世代に比べどう変わったかを言語化できると就職活動では有利になると思います。

教員免許取得者へインタビュー



R・Mさん

中・高 一種理科免許
を取得予定。事務系。



S・Aさん

中・高 一種英語免許
を取得予定。事務系。



R・Gさん

中・高 専修理科免許
を取得済み。技術系。



N・Yさん

高校 一種英語免許を
取得予定。事務系。

ここでは教職課程を履修して教員免許を取得した、もしくは取得予定の文科省内定者の方からいろんなお話を聞いてみようと思います。

【教職課程を履修したきっかけは？】

N・Yさん 学生や児童生徒の学ぶ場や励む場で過ごし、彼らの成長の一端に携わることに魅力を感じたことがきっかけです。

S・Aさん もともと学校という場が好きで教育に関心があり、なにかしら教育にかかわる仕事も選択肢に持っておきたいと思っていました。でも学部は全然教育系とは違ったので、将来学校の先生になりたいと思ってでも対応できる教職課程を別で履修しよう決めました。

R・Mさん なんだか官庁訪問の面接みたいになってきましたね。

一同（笑）

R・Gさん アルバイトで集団塾の講師をする中で生徒の人生にかかわる仕事だなと感じ、ちゃんと勉強しようと思ったのが1つです。それから理学部だったので将来就

職できなかったときのためにとりあえず何か資格を取っておこうと思ったのと、空きコマがもったいないので教職で埋めつくした、というもあります。

R・Mさん 僕も理学部でよく“就職ムリ学部”とか揶揄されるので、念のために履修しておこうというのが本当のきっかけですね。でも教職取ってた友達が1年生の時点でバツバツいなくなっていく中で教職の講義面白いなと思って続けられたのは潜在的に教育に関心があったからなのかな、と思います。

【教育実習と就活の両立は大変？】

N・Yさん 教育実習が官庁訪問と被ってしまったので教育実習を数日欠席するという選択をしました。結果、元々予定していた中・高の免許ではなく、高校のみの免許となりました。民間就活に関しては、私自身の人生にとっては教育実習に参加することの方が重要であると考えていたので、教育実習期間はほとんどできないことは昔から想定していました。そこで6月の教育実習よりも前にほとんどの民間就活を終えられるよう企業を取捨選択し、スケジュールリングしていました。

内定者統計

総合職試験

官庁訪問

就活全般

内定者プロフィール

インタビュー



S・Aさん 私は教育実習終わった次の週から官庁訪問だったので大変でした。ただ民間就活は一通り終わらせて教育実習に行ったので、民間就活との両立で大変だった記憶はあんまりなかったと思います。また3年秋に教養区分受かっていたことで教育実習前から官庁訪問対策ができたし、教育実習中に教育現場でいろんな体験したことが政策を考える上で役立ったこともあったので官庁訪問直前に教育現場を見ることができたのは良かったなと思います。

【教員を選ばなかった理由は？】



R・Mさん 実は教職の授業で文科省を目指そうと思い始めたんですよね。教職の道ではなく(笑)。学校現場にはいろいろな問題があると学ぶ中でそれらを教員が解消していくのは難しいと思うことも多かったです。自分の受け持つ生徒の抱える問題に寄り添うことはできても全国の同じような境遇の子どもを救うことができなかつたりするので、根底から課題解決することのできる教育行政に携わろうと思い立ちました。



R・Gさん 教育に関する仕事はしてみたいと思っていたけれど教育だけをしたいかといわれるとそうではなく、理系の研究をしていたこともあり教育も科学もできるところを考えたときに文科省しかないだろうという結論に至りました。あと学芸員の資格も取っているのもありますね。

【官庁訪問で教員免許取得や教職課程が役立ったこと、またデメリットは？】



R・Gさん 官庁訪問では実体験に基づいて話をすることが求められるので教育実習の経験は大きな武器になったと思います。ただ教員免許を持っていることを履歴書に書くと「なんで教員にならないの？」と聞かれることが多いのでデメリットというか

注意点ですね。



R・Mさん 教職の授業って班を作って自己紹介やグループワークをしたり明確な答えの存在しない問について議論したりするのでそういう力はついたかなと思います。デメリットは単純にお金と時間が削られることですね。

【読者へのメッセージ】



R・Gさん 教職課程を取るのは大変なことだと思いますが、教員になるにしろ文科省に行くにしろ民間に行くにしろその経験は必ずどこかで生きるものです。せっかくここまで取っているなら無理のない程度に最後まで取り切ってもらえればなと思います。



S・Aさん もし教員以外の道に進んだとしてもいつか教員になれる道が残っているというのは大きいと思います。興味のある方はぜひ最後まで取ってほしいです。



N・Yさん 最終的に教員免許を取得するかはさておき、文部科学省が所管する分野に関心がある方にとって、教職課程を履修することがマイナスに働くことはないと思います。時間が許すのであれば是非学び続け、素直に現場についての知識や感覚を養ってください。



R・Mさん 教員免許を持っていると文科省の官庁訪問に有利ということはないので、教職以外にも自分が心からやりたいと感じることを大事にして行動することをお勧めします。そうした唯一無二の経験が人生設計に一番役に立つと思うのでいろいろ探してみるのがいいのかなと思います。



ご覧いただきありがとうございます



ございました!!



皆さまとお目にかかれる日を



楽しみにしています!!



文部科学省

文部科学省
採用ページ

https://www.mext.go.jp/b_menu/saiyou/index.htm



ご連絡お待ちしております!!



文部科学省
採用・キャリア情報
Twitter アカウント

https://twitter.com/mext_recruit



文部科学省
採用・キャリア情報
Facebook ページ

<https://www.facebook.com/mext.recruit/>



発行日：2022年2月 初版発行
発行者：令和3年度文部科学省内定者一同

E-mail：mextr4.naiteisya@gmail.com

2022年4月以降は連絡が遅くなる可能性があります

※販売・無断転載禁止※

本冊子は内定者自身の体験を基にして作成したもので、就職活動における文部科学省からの公式見解ではありません。掲載した内容は2021年度時点のもので、正確を期しておりますが、誤りがあり読者の方が不利益を被った場合でも、その不利益に関してその一切の責任を負いません。